

1 評価指標値の算定根拠

(1) 評価指標 1 の算定根拠

生活スタイルの変化等により、公共交通利用者数がコロナ前の状況に戻ることは極めて難しいと想定していますが、本計画に基づく利用促進策の実施等により、令和 4（2022）年度から少しずつ回復することを見込んでいます。

さらに、令和 7（2025）年度から新交通システムを本格的に導入することで大幅な利用者数の増加を目指します。

表 評価指標 1 の現況値と目標値

評価指標	現況値 R1(2019)年度 R2(2020)年度	目標値 R8(2026)年度
評価指標 1 市民 1 人当たりの地域公共交通の 利用回数〔回／年〕	R1：5.93 回／年 R2：3.94 回／年	6.00 回／年

表 評価指標 1 の算出に用いたデータ

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
利用者数(人)	487,904	319,368	320,000	345,000	360,000	360,000	400,000	456,000
人口※(人)	82,284	81,071	80,057	79,043	78,029	77,015	76,000	76,000
市民1人当たりの 公共交通利用回数(回)	5.93	3.94	4.00	4.36	4.61	4.67	5.26	6.00

※令和元年度及び 2 年度の人口は、それぞれ 3 月 31 日現在のもの。

一方、令和 3 年度以降の人口は、将来予測値であり、令和 7 年度及び 8 年度の人口は第五次総合計画後期基本計画の目標値を採用。

(2) 評価指標 2 の算定根拠

バス路線については、運行を効率化させることで、令和 8（2026）年度までに運行経費を 10%縮減させることを目指します。一方、経常収益は、本計画に基づく利用促進策の実施等により利用者数の増加を見込んでいることから、10%増額を目指します。

地域内交通は、高柳町及び西山町での両地域内交通の乗車運賃改定を含む再編により、運行経費は 20%縮減、経常収益は 80%増額を目指します。

表 評価指標 2 の現況値と目標値

評価指標		現況値 R1(2019)年度 R2(2020)年度	目標値 R8(2026)年度
評価指標 2 収支率 [%]	全体	R1 : 25.75% R2 : 24.63%	30.00% (小数点第一位を四捨五入)
	越後交通(株)バス路線 (・路線バス ・市街地循環バス)	R1 : 27.39% R2 : 26.21%	32.00% (小数点第一位を四捨五入)
	地域内交通 (・高柳町地域内交通 ・西山町地域自家用 有償旅客運送など)	R1 : 3.48% R2 : 2.40%	5.00% (小数点第一位を四捨五入)

表 評価指標 2 の算出に用いたデータ

	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	利用者数(人)	487,904	319,368	320,000	345,000	360,000	360,000	400,000	456,000
	人口※(人)	82,284	81,071	80,057	79,043	78,029	77,015	76,000	76,000
全体	運行経費	¥540,141,102	¥536,867,420						¥479,618,845
	経常収益	¥139,082,949	¥132,237,023						¥146,059,225
	収支率	25.75%	24.63%						30.45%
路線バス	運行経費	¥503,036,340	¥501,249,103			△10%			¥451,124,192
	経常収益	¥137,792,349	¥131,382,023			+10%			¥144,520,225
	収支率	27.39%	26.21%						32.04%
地域内交通	運行経費	¥37,104,762	¥35,618,317			△20%			¥28,494,653
	経常収益	¥1,290,600	¥855,000			+80%			¥1,539,000
	収支率	3.48%	2.40%						5.40%

※令和元年度及び 2 年度の人口は、それぞれ 3 月 31 日現在のもの。

一方、令和 3 年度以降の人口は、将来予測値であり、令和 7 年度及び 8 年度の人口は第五次総合計画後期基本計画の目標値を採用。

(3) 評価指標 3 の算定根拠

バス路線については、運行を効率化させることで、令和 8（2026）年度までに運行経費を 10%縮減させることを目指しており、市の財政負担額も同様に 10%の縮減を目指します。

地域内交通は、高柳町及び西山町での両地域内交通の乗車運賃改定を含む再編により、市の財政負担額は 20%縮減、利用者数は 30%増加を目指します。

表 評価指標 3 の現況値と目標値

評価指標		現況値 R1(2019)年度 R2(2020)年度	目標値 R8(2026)年度
評価指標 3 利用者 1 乗車 当たりの柏崎 市の財政負担 額〔円/年〕	全体	R1：244 円/年 R2：438 円/年	269 円/年
	越後交通(株)バス路線 〔・路線バス ・市街地循環バス〕	R1：174 円/年 R2：334 円/年	212 円/年
	地域内交通 〔・高柳町地域内交通 ・西山町地域自家用 有償旅客運送など〕	R1：3,699 円/年 R2：5,560 円/年	3,432 円/年

表 評価指標 3 の算出に用いたデータ

	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	利用者数(人)	487,904	319,368	320,000	345,000	360,000	360,000	400,000	456,000
	人口※(人)	82,284	81,071	80,057	79,043	78,029	77,015	76,000	76,000
全 体	市負担額	¥119,289,786	¥139,982,049						¥122,518,975
	利用者数(人)	487,904	319,368						456,000
	1乗車当たりの公的負担額	¥244	¥438						¥269
路 線 バ ス	市負担額	¥83,324,224	¥104,471,469			△10%			¥94,024,322
	利用者数(人)	478,182	312,981			+42%			444,433
	1乗車当たりの公的負担額	¥174	¥334						¥212
地 域 内 交 通	市負担額	¥35,965,562	¥35,510,580			△20%			¥28,494,653
	利用者数(人)	9,722	6,387			+30%			8,303
	1乗車当たりの公的負担額	¥3,699.40	¥5,560						¥3,432

※令和元年度及び 2 年度の人口は、それぞれ 3 月 31 日現在のもの。

一方、令和 3 年度以降の人口は、将来予測値であり、令和 7 年度及び 8 年度の人口は第五次総合計画後期基本計画の目標値を採用。

(4) 評価指標 4 の算定根拠

令和 2（2020）年度では、米山、野田、高柳の各地域において、地域内交通の運行に係る運営や予約受付などの協働参画を行っています。現時点において、地域内交通を運行している地域は、前述の 3 地域に加え西山町地域がありますが、これらの全ての地域から、地域内交通の運行維持に係る積極的な参画をしていただくよう努めていきます。

表 評価指標 4 の現況値と目標値

評価指標	現況値 R1(2019)年度 R2(2020)年度	目標値 R8(2026)年度
評価指標 4 地域公共交通の運行の維持のために 協働参画する地域数〔地域〕	R2：3 地域 米山地区：地域内交通の運営 野田地区：地域内交通の予約受付 高柳地区：地域内交通の予約受付	4 地域

2 柏崎市地域公共交通網形成計画の評価

(1) 柏崎市地域公共交通網形成計画の概要

本市では、平成 27（2015）年度末に「柏崎市地域公共交通網形成計画」（計画期間：平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）を策定し、様々な地域公共交通に係る取組を実施してきました。

目的	目標	施策
「誰もが自分で移動できるまち・柏崎」 持続可能な公共交通の実現」	【郊外とつなぐ幹線系統】 持続性の向上により公共交通の確保・維持を図る	1. 地域要望や乗降調査等による適宜見直し 2. 乗り継ぎ割引の検討 3. 柏崎駅南口広場の整備に伴う系統の整理 4. 新庁舎建設に伴う運行体系の見直し 5. 市民サービスの向上および観光振興
	【市街地とつなぐ幹線系統】 地域内交通体系を構築し幹線系統とのネットワーク化を図る	6. 高齢者割引制度の検討 7. 適切な公共交通車輛の導入 8. 西部地区の運行体系の再編の検討 9. 地域主体となる生活交通の波及
	【都市間交通】 交通体系の維持・発展を図る	10. 高柳町・鵜川地区新交通の見直し 11. にしやま号の運行体系の見直し 12. 県内高速バス「柏崎～新潟線」増便に向けた取組 13. 高速バス県外線の市内停車バス停追加に向けた取組 14. パークアンドライドの推進
	【柏崎市民】 公共交通を「乗って守る」意識醸成を図る	15. 北越新幹線を利用しやすい環境を整備する取組 16. 東京都内への速達性の向上に関する取組の推進 17. 新潟市への速達性、利便性の向上に関する取組 18. 上越・北陸新幹線直行特急実現に関する取組 19. 公共交通を理解する機会の創出と啓発活動

(2) 施策の実施状況

表 令和2年度（2020年度）柏崎市地域公共交通網形成計画の実施状況（No.1～6）

評価（進捗度合）の考え方

AA：完了、A：順調、B：やや順調、C：やや遅延、D：かなり遅延、E：達成困難、F：事業期間未到来、G：事業中止・取り止め

No.	事業	概要	令和2年度（2020年度）の実施状況	今後の方向性 等	進捗度合
1	地域要望や乗降調査等による適宜見直し	地域要望やバス乗降調査等を適宜行い、運行状況を把握し、必要に応じた見直しを図る。	柏崎翔洋中等教育学校からの要望を受け、令和3年1月に市街地循環バス「かざぐるま」経路変更を実施し、生徒の登下校の利便性の向上を図った。	●今後も、人口減少、高齢化、移動ニーズなど地域の状況変化に対応した見直しを行っていく。	A
2	乗継割引の検討	郊外線から市街地循環線へ乗り継ぐことで公共施設等へ移動が可能であるが、乗り継ぐには改めて初乗り運賃が生じる。このため、乗り継いだ場合の割引を検討する。	路線バス高齢者割引制度の試行実施を優先したことで、乗継割引については、情報収集に留まった。	●路線バス高齢者割引制度の実施を優先したため、着手まで至らなかった。 ●今後は、MaaSなどの公共交通における新たな技術を活用した割引サービスについて、研究を継続していく。	E
3	柏崎駅南口広場の整備に伴う系統の整理	柏崎駅南口広場の整備に伴い、現在、柏崎駅前には集中しているバス発着場所を駅前と駅南口への適正な振り分けを検討する。	平成30年度まで段階的に、柏崎駅前と駅南口への振り分けを行ったことで、現時点においては、利用者の動向ニーズに応じた振り分けが概ね完了したと考えている。	●今後も利用者の動向ニーズの把握に努め、必要に応じて、柏崎駅前と駅南口の振り分けを検討していく。	A
4	新庁舎建設に伴う運行体系の見直し	市役所庁舎は、令和2年度中に柏崎駅周辺へ移転を予定している。これに合わせて駅周辺の路線見直しを検討する。	令和3年1月の市役所移転に伴い、市街地循環バス「かざぐるま」を経路変更し、市役所新庁舎に乗り入れた。	●今後、旧市役所跡地の活用方法が決定したのち、必要に応じて、経路変更を検討していく。	A
5	市民サービスの向上および観光振興	柏崎駅前から観光施設への直通便を新設する。また、路線バス運賃と観光施設利用料をセットにした割安企画乗車券を導入し、観光客の増加につなげる。	平成28年度（2016年度）から販売している路線バス乗車券とじよんのび村温泉入浴券をセットにしたお得な企画乗車券の販売PRを行い、利用の促進を図った。 令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、じよんのび村が長期間休業したこともあり、販売数量は前年を大きく下回った。 令和2年（2020年）販売実績 大人 356枚（前年 969枚） 小人 26枚（前年 65枚） 計 382枚（前年1,034枚）	●アフターコロナを見据えて、新たな企画乗車券についても研究していく。 ●また、MaaSなどの公共交通における新たな技術の活用についても研究していく。	A
6	高齢者割引制度の検討	高齢者の利用促進のほか、交通事故防止にもつながることから、高齢者を対象とした優遇制度を導入する。	路線バス高齢者割引制度を、令和2年度も引き続き、試行実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、専用回数券の販売数量は伸び悩んだ。 令和2年度（2020年度）販売実績 高齢者割引回数券販売総数 8,905綴り（前年度7,448綴り）	●平成29年（2017年）6月：市街地循環バスにおいて先行実施 ●令和元年（2019年）10月：越後交通が運行する市内全路線に対象拡大 ●高齢者へのアンケートにおいて、本制度の認知度がまだ低いことが明らかになったため、今後、更なるPRを行っていく。	A

表 令和2年度（2020年度）柏崎市地域公共交通網形成計画の実施状況（No.7～12）

評価（進捗度合）の考え方

A：完了、A：順調、B：ほぼ順調、C：やや遅延、D：かなり遅延、E：達成困難、F：事業期間未到来、G：事業中止・取り止め

No.	事業	概要	令和2年度（2020年度）の実施状況	今後の方向性等	進捗度合
7	適切な公共交通車両の導入	主な利用者が高齢者が乗りやすい低床型車両へ随時更新していく。また、地域内交通等の導入に当たっては、コミュニティ型やセダン型の導入を検討する。	利用者が減少している高柳町地域内交通の車両を、28人乗りマイクログラスから14人乗りコミュニティ型に更新した。	- 令和3年度中の予定している西山町地域内交通の再編においても、車両の小型化を計画している。 - 今後も車両更新に当たっては、利用状況を踏まえて、適切なサイズの車両を導入していく。	B
8	西部地域の運行体系の再編の検討	西部地域の路線バス運行便数は、他の市街地周辺地区に比べ比較的少ない。新潟病院へのアクセス要望がある一方、商業施設が少ないこともあり、運行体系の再編を検討する。	西部地区路線の再編の検討に当たり、新潟病院線、赤坂山公園線、米山台福祉センター線の乗降調査を、令和元年度に引き続いて実施した。	乗降調査の結果等を踏まえて、運行の効率化を図るために西部地区路線の再編を検討していく。	C
9	地域が主体となる生活交通の波及	住民が主体となつて運行している米山地区乗合タクシーは、自主的な運行により、利用実績が安定して推移している。これをモデルケースに、住民主体の公共交通を他地域において展開する。	路線バス利用者の減少による路線縮小・廃線に備え、米山地区以外の地域においても主体的な運行が実現できるよう地域参画型生活交通確保対策補助金の補助率の見直し（増額）を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響で、バス路線の確保は厳しさを増していることから、公共交通空白地を発生させないよう地域とともに準備をしていく。	C
10	高柳町・鶴川地区の新たな交通の見直し	高柳町地区及び鶴川地区は、高齢化率が高く、公共交通利用者も減少傾向にある。このため、地域に見合った先進的な交通体系を構築する。	高柳町地域内交通の再編に向けて、運行事業者・地域・学校などと協議し、再編案をまとめた。	- 高柳町地域内交通は令和3年8月から新たな形態での運行を開始する予定。 - 鶴川地区地域内交通においても、今後、具体的に再編を検討していく。	B
11	にしま号の運行体系の見直し	にしま号の利用者は減少傾向にあり、効率的運行を目指し、見直しを図る。	西山町地域内交通の「にしま号」の再編を行うため、西山町地域の高齢者を対象に、公共交通に係るヒアリング及びアンケートを実施した。	令和3年度は、「にしま号」の再編を計画している。（デマンド型ドアツードア方式）	B
12	県内高速バス「柏崎駅前～新潟駅前線」の増便に向けた取組	平成26年4月から大幅な減便が行われた。サービス水準の低下により利用者が減少する懸念を受け、便数の増便に関して関係者と協議、調整を進める。	ヒアリング回数：全9回、88名 新型コロナウイルス感染症拡大により、県内高速バスの利用者が大幅に減少したこと、令和2年12月から、「柏崎駅前～新潟駅前線」、「上越～新潟駅前線」がそれぞれ1往復ずつ減便となった。 これ以上の減便を防ぐため、新潟県と本市を含む県内高速バス沿線市が協議し、運行事業者に対して、運行維持支援金を交付した。	- 新たに設立された「新潟県内高速バスネットワーク協議会」と連携し、利用の回復を図っていく。 - 現在、「柏崎駅前～新潟駅前線」は3往復のみであることから、「上越～新潟駅前線」停車バス停と市内路線バスとの接続性の向上について検討していく。	E

表 令和2年度(2020年度) 柏崎市地域公共交通網形成計画の実施状況 (No.13~19)

評価(進捗度合)の考え方

A A : 完了、A : 順調、B : ほぼ順調、C : やや遅延、D : かなり遅延、E : 達成困難、F : 事業期間未到来、G : 事業中止・取り止め

No.	事業	概要	令和2年度(2020年度)の実施状況	今後の方向性等	進捗度合
13	県内高速バス県外線の市内停車バス増加に向けた取組	県外行き的高速バスの多くは市内を素通りしており、県外主要都市へのアクセス性が低い状況にあることから、柏崎市内停留所での停車を要望していく。	新型コロナウイルス感染拡大により、県外移動のニーズが大きく低下したため、要望活動は見送った。	●アフターコロナにおいて、県外移動のニーズを確認した上で、必要により対応していく。	D
14	パークアンドライドの推進	高速バス停留所付近にある駐車場の利用を周知し、高速バスの利用促進を図る。	令和2年度版公共交通ガイドブックで、高速バス停留所付近駐車場の利用を周知した。	●高速バスの運行維持及び環境の観点から、引き続きパークアンドライドについてPRしていく。	B
15	北陸新幹線を利用しやすい環境を整備する取組	上越妙高駅を利用する際、時間帯によっては優等列車の接続がない。北陸新幹線利用者や市内観光客の利便性向上のため、直通の高速バス等の運行について協議していく。	上越妙高駅への接続性を高めるため、令和2年10月に東日本旅客鉄道(株)及び西日本旅客鉄道(株)に要望活動を書面にて行った。	●今後も接続性の向上に向けて、公共交通事業者に要望をしていく。	D
16	東京都内への速達性、利便性の向上に関する取組	東京方面へは、長岡駅で上越新幹線に乗り換えることが最も所要時間の短いルートである。このため、長岡駅での上越新幹線と信越本線との乗り換え時間の短縮による速達性の向上に向けて協議していく。	令和2年9月に東日本旅客鉄道(株)新潟支社に對して、10月には東日本旅客鉄道(株)本社に要望活動を書面にて行った。 令和3年(2021年)3月のダイヤ改正では、乗換時間の改善が図られ、上り・下りのそれぞれ1本ずつ接続性が高まった。	●今後も東京都内への速達性及び利便性の向上を図るための取組を検討していく。	B
17	新潟市への速達性、利便性の向上に関する取組	県庁所在地である新潟市へは移動需要に応じたサービス水準となるよう優等列車等の増便等を協議していく。	令和2年9月に柏崎商工会議所、柏崎観光協会、柏崎市が共同で東日本旅客鉄道(株)新潟支社に要望活動を行った。	●新潟市への速達性及び利便性の向上に向けての取組を検討していく。	C
18	上越・北陸新幹線直行特急実現に関する取組	上越・北陸新幹線を乗り換えなしで運行する直行特急の実現に向けて関係機関と協議し、検討を進める。また、信越本線の利便性向上、2つの新幹線との接続性、速達性確保を目的とし、新幹線・在来線直通運転の実現に向けて研究していく。	令和2年10月に、上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会(事務局：柏崎市)が国土交通省及び東日本旅客鉄道(株)本社に要望活動を書面にて行った。	●今後も直行特急実現に向けて要望活動を行っていく。	C
19	公共交通を理解する機会の創出と啓発活動	公共交通の利用促進のため、効果的な利用啓発活動を実施する。	利用促進のため、高校生通学割引キャンペーンや高齢者割引制度などを実施した。また、令和3年度版公共交通ガイドブックは、全世帯に配布した。	●アフターコロナにおいては、様々な取組を実施し、公共交通の利用促進と利用機会の創出を図っていく。	B

(3) 評価

柏崎市地域公共交通網形成計画における4つの評価指標は、いずれも目標値への到達には至りませんでした。

評価指標1の「公共交通利用率」については、人口減少や運転できる高齢者の増加、路線バス等の運行本数の減少による他の移動手段への転換などが減少要因として考えられます。また、令和2(2020)年1月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、利用者数減少の状況に、さらに追い打ちをかけています。

評価指標2の「バス利用1回あたり負担額」については、利用者数の大幅な減少と、路線バス関連事業に係る支出額の大幅な増額によるものと考えています。なお、路線バス関連事業に係る支出額の増額は、運行経費単価の増額などによるものです。

評価指標3の「公共交通機関利便性の満足度」は、市内路線バス運行本数の減少による影響が大きいと考えられます。

評価指標4の「地域主体の運行を実施する地域数及び人口」については、現行の路線バス運行が維持されたことにより、新たな公共交通空白地が発生しなかったことによるものです。なお、これからを見据えて、地域主体での運行に取り組みやすくするため、令和3(2021)年度から地域主体運行に係る市補助金の補助率の見直しを行いました。

表 評価指標達成度

評価指標	当初現況値	目標値	実績値
【評価指標1】 公共交通利用率（人口1人あたりの利用回数）	15.6 回/人・年 〔※H25 年度 バス：704,031 人 鉄道：695,000 人 人口：89,511 人 (H25.3.31 現在)〕	17 回/人・年	R1 年度：12.9 回/人・年 〔バス：487,772 人 (R1 年度) 鉄道：573,888 人 (R1 年度) 人口：82,284 人 (R2.3.31 現在)〕 R2 年度： 11.0 回/人・年（暫定値） 〔バス：319,250 人 (R2 年度) 鉄道：573,888 人 (R1 年度) 人口：81,071 人 (R3.3.31 現在)〕
【評価指標2】 バス利用1回あたり負担額	118 円/回 〔※H25 年度 バス：704,031 人 バス関連事業決算額： 83,075,658 円〕	118 円/回	R1 年度：272 円/回 〔バス：487,772 人 バス関連事業決算額： 132,827,459 円〕 R2 年度：492 円/回 〔バス：319,250 人 バス関連事業決算額： 157,309,489 円〕
【評価指標3】 公共交通機関利便性の満足度	21.3%(H27 年度)	25.0%	19.6%(R2 年度)
【評価指標4】 地域主体の運行を実施する地域数および人口	地域数：1（米山地区） 人口：市全体の 1.1% (983 人)	地域数：2 人口： 市全体の 1.5%	地域数：1 人口：市全体の 1.0% (817 人) 〔全市人口：81,071 人 (R3.3.31 現在)〕

3 策定までの経過

	時期	内容
令和2 (2020)年	7月3日	令和2(2020)年度第2回柏崎市地域公共交通活性化協議会(書面決議) ○柏崎市地域公共交通計画策定方針(案)について ・策定方針(案)、スケジュール確認
	10月2日	令和2(2020)年度第3回柏崎市地域公共交通活性化協議会 ○地域公共交通計画の策定について ・策定方針、スケジュール確認
	11月6日~24日	公共交通アンケートの実施
令和3 (2021)年	6月28日	令和3(2021)年度第2回柏崎市地域公共交通活性化協議会 ○(報告)柏崎市地域公共交通計画の策定状況について ・アンケート調査、路線バス乗降調査、地域住民ヒアリングの実施報告 ・令和3(2021)年度のスケジュール確認
	10月5日~6日	交通事業者ヒアリングの実施 (バス事業者:1社、その他交通事業者:4社)
	10月29日	令和3(2021)年度第4回柏崎市地域公共交通活性化協議会 ○柏崎市地域公共交通計画の骨子案について ・計画骨子案、今後のスケジュール確認
	11月26日	令和3(2021)年度第5回柏崎市地域公共交通活性化協議会 ○柏崎市地域公共交通計画の素案について ・計画素案、今後のスケジュール確認
	12月16日	市議会への説明
	12月17日~ 令和4(2022)年 1月14日	パブリックコメントの実施 ○計画(案)を市役所や柏崎市ホームページ等で公開し、意見を募集 意見提出件数 9件(提出者2名)
令和4 (2022)年	2月18日	令和3(2021)年度第7回地域公共交通活性化協議会 ○柏崎市地域公共交通計画案について ・柏崎市地域公共交通計画案の承認→【成案】

4 公共交通アンケート調査

(1) 実施概要

	高齢者アンケート	高校生アンケート	障がい者アンケート
対象	70 歳以上 85 歳以下	・ 柏崎、柏崎常盤、柏崎工、柏崎総合、新産大附の 2 年 ・ 柏崎翔洋の 5 年生	・ 柏崎特別支援、はまなす特別支援の中等部及び高等部の生徒 ・ こすもす作業所、たいよう SOCIO センターの作業者
配布数	1,000 票	770 票	230 票
回収数	671 票（回収率：67%）	719 票（回収率：93%） （柏崎高校：187 票） （柏崎常盤高校：114 票） （柏崎工業高校：138 票） （柏崎総合高校：114 票） （新潟産業大学附属高校：119 票） （柏崎翔洋中等教育学校：47 票）	174 票（回収率：76%） （柏崎特別支援学校：15 票） （はまなす特別支援学校：69 票） （こすもす作業所：35 票） （たいよう SOCIO センター：55 票）
配布/回収	郵送	学校経由	施設経由
配布物	・ 依頼文 ・ 調査票（A3）	・ 依頼文 ・ 調査票（A3）	・ 依頼文 ・ 調査票（A3）

調査票 A

アンケート調査票

問 1 あなたの外出状況について、お聞きます。

問 1-1 最もよく行く店舗はどこですか。 ※下記の該当する番号に○(1つだけ)

- ①ウオロク柏崎店 ②ウオロク桜木店 ③原信 柏崎東店 ④原信 岩上店
⑤ドン. キホーザ柏崎店 ⑥フオンジエ ⑦ピアレマート柏崎店 ⑧買物に行かない
⑨市内その他 () ⑩市外その他 ()

問 1-2 最もよく行く医療機関はどこですか。 ※下記の該当する番号に○(1つだけ)

- ①柏崎総合医療センター ②新潟病院 ③柏崎中央病院 ④柏崎厚生病院
⑤通院していない () ⑥市内その他 () ⑦市外その他 ()

問 1-3 「問 1-1」及び「問 1-2」で回答した以外に、よく行くその他の場所はどこですか。 ※下記の該当する番号に○(1つだけ)

- ①柏崎市役所 ②アルフォーレ ③ソフィアセンター ④市民プラザ
⑤アクアパーク ⑥シーユース雷音 ⑦元気館 ⑧総合体育館
⑨高柳じよんのむ村 ⑩大崎温泉雪割草の湯 ⑪その他 ()

問 1-4 「問 1-1」、「問 1-2」及び「問 1-3」で回答された場所には、どの程度行かれますか。 ※それぞれ解答欄に下記の該当する番号を記入

- ①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回
④月に1～2回 ⑤年に数回 ⑥その他 ()

問 1-5 「問 1-1」、「問 1-2」及び「問 1-3」で回答された場所には何時ごろ出かけ、何時ごろ帰宅されますか。 ※それぞれ解答欄に下記の該当する番号を記入

- ① 7時台 ② 8時台 ③ 9時台
④ 10時台 ⑤ 11時台 ⑥ 12時台
⑦ 13時台 ⑧ 14時台 ⑨ 15時台
⑩ 16時台 ⑪ 17時台 ⑫ 18時台
⑬ 19時台 ⑭ 20時台
⑮ その他 () 時台

問 1-6 「問 1-1」、「問 1-2」及び「問 1-3」で回答された場所には、どの交通手段で行われますか。 ※それぞれ解答欄に下記の該当する番号を記入

- ①路線バス (かざぐるま・ひまわり)
②循環バス ③鉄道 ④県内高速バス
⑤タクシー ⑥自家用車(自分で運転)バイク
⑦家族や友人等の送迎
⑧徒歩・自転車
⑨その他 ()

(2) 調査票

問 2 路線バス、循環バス (かざぐるま・ひまわり) について、お聞きます。

問 2-1 どの程度、利用されていますか。 ※下記の該当する番号に○(1つだけ)

- ①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回 ④月に1～2回 ⑤年に数回程度
⑥1年以上利用していない [→⑥を選んで方は問 2-3へお進みください]

問 2-2 路線バス、循環バス (かざぐるま・ひまわり) を利用する理由は何ですか。 ※下記の該当する番号に○(いくつでも)

- ①バス停が近い ②ほぼ時刻通りに来る
③ダイヤがわかりやすい ④乗りたい時刻に運行している
⑤目的地へ自分で行ける ⑥運賃が安い
⑦乗り降りしやすい ⑧車や自転車を使えない・使いにくい
⑨送迎を頼まなくてもすむ ⑩雨や暑い日などの悪天候でも出かけられる
⑪ドライバーが親切 ⑫その他 ()

問 2-3 路線バス、循環バス (かざぐるま・ひまわり) の不便な点、または利用しない理由は何ですか。 ※下記の該当する番号に○(いくつでも)

- ①バス停が遠い ②時刻通りに来ない
③ダイヤがわかりにくい ④運行本数が少ない
⑤始発バスの時間が遅い ⑥最終バスの時間が早い
⑦よく行く目的地の近くにバス停がない ⑧目的地まで時間がかかる
⑨運行ルートや時刻表乗り場が複雑でわかりにくい ⑩運賃が高い
⑪車両の乗り降りがしにくい ⑫SuicaなどのICカードが利用できない
⑬鉄道との乗り継ぎがしにくい ⑭他のバスとの乗り継ぎがしにくい
⑮待合環境が悪い (ベンチや上屋など) ⑯徒歩・自転車で出かけられる
⑰車を使える ⑱家族や友人に送迎を頼める
⑲ドライバーが不親切 ⑳その他 ()

問 2-4 柏崎市が実施している路線バス、循環バス (かざぐるま・ひまわり) の高齢者割引制度 (高齢者専用回数券) についてお聞きます。

※下記の該当する番号にそれぞれ○

- 制度を知っていますか (1つだけ○) ①知っている ②知らない
高齢者専用回数券の購入は? (1つだけ○) ①購入したことがある ②購入したことはない
満足度を教えてください (1つだけ○) ①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満
改善してほしいことは何でしょうか (いくつでも○) ①使用期間を延ばしてほしい ②使用期限をなくしてほしい ③購入場所を増やしてほしい (施設名:)
④改善点はない ⑤その他 ()

■ 高齢者アンケート調査票（3～4 ページ）

問3 鉄道利用について、お聞きします。

問3-1 鉄道を利用する時の乗車駅（自宅からの最寄り）を教えてください。

※下記から該当する番号に○（それぞれ1つ）

①柏崎	②求目	③安田	④北条	⑤越後広田	⑥長島	⑦輪波
⑧青海川	⑨安島	⑩米山	⑪東柏崎	⑫西中通	⑬荒浜	⑭刈羽
⑮西山	⑯乳坪	⑰石地	⑱利用しない			

問3-2 鉄道の満足度について教えてください。※下記から該当する番号に○（それぞれ1つ）

駅施設（駐車場の不足など）	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
待合環境	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
バリアフリー設備 （エスカレーター、エレベーターなど）	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
最寄り駅までの移動手段	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満

問3-3 鉄道を利用している方にお聞きします

乗車駅（自宅からの最寄り）まで、どの交通手段で行われますか。

※下記から該当する番号に○（1つだけ）

①路線バス	②循環バス（かざぐるま・ひまわり）	③タクシー
④自家用車（自分で運転）・バイク	⑤家族や友人等の送迎	⑥徒歩・自転車
⑦その他（		

問4 県内高速バス利用について、お聞きします。

問4-1 県内高速バスを利用する時のバス停（自宅からの最寄り）を教えてください。

※下記から該当する番号に○（1つだけ）

①柏崎駅前	②南町	③柏崎営業所入口	④日吉町	⑤柏崎地域振興局入口
⑥柏崎インター	⑦上方	⑧曾地	⑨西山	⑩利用しない

問4-2 県内高速バスの満足度について、教えてください。

※下記から該当する番号に○（それぞれ1つ）

運行便数	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
運 賃	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
待合環境	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
高速バス停までの移動手段	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満

問4-3 県内高速バスを利用している方にお聞きします

乗車バス停（自宅からの最寄り）まで、どの交通手段で行われますか。

※下記から該当する番号に○（1つだけ）

①路線バス	②循環バス（かざぐるま・ひまわり）	③鉄道	④タクシー
⑤徒歩・自転車	⑥自家用車（自分で運転）・バイク	⑦家族や友人等の送迎	
⑧その他（			

問5 タクシーについて、お聞きします。

問5-1 タクシーを利用している方にお聞きします

タクシーを利用する理由を教えてください。※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①目的地へ直接行ける	②自分の好きな時間に移動できる
③他の公共交通が運行していない	④自宅や目的地の前で乗り降りができる
⑤他の利用者と一緒に乗りに乗らない	⑥足や身体が弱い
⑦夜でも安全に帰宅できる	⑧雨や暑い日などの悪天候でも出かけられる
⑨自転車で乗れない・乗りにくい	⑩車を使えない・使いにくい
⑪送迎を頼まなくてもすむ	⑫乗り降りしやすい
⑬その他（	

問5-2 タクシーを利用しづらい、または利用しない理由があれば教えてください。

※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①運賃が高い	②路線バスで十分である
③送迎を頼める人がいる	④車が使えない
⑤徒歩や自転車で十分である	⑥特になし
⑦その他（	

問6 あなたご自身について、お聞きします。

お住まいの地区	郵便番号	〒							
年齢（1つだけ○）	①65～69 歳	②70～74 歳	③75～79 歳	④80 歳以上					
性別（1つだけ○）	①女性	②男性							
運転免許（1つだけ○）	①あり	②なし	③返納済み						
乗り物の所有（いくつでも○）	①自家用車	②バイク	③自転車	④なし					
同居の家族（いくつでも○）	①配偶者	②子ども・兄弟姉妹	③その他	④いない					
自動車運転の状況（1つだけ○）	①自分で運転している	②家族などが運転する							
スマートフォンの保有（1つだけ○）	①持っている	②持っていない							

問7 その他、市の公共交通に関してお見があれば、自由にご記入ください。

— ご協力ありがとうございました —

■ 高校生アンケート調査票 (1～2 ページ)

調査票B-O

アンケート調査票

問1 あなたが自身について、お聞きます。

問1-1 あなたのお住まいの郵便番号、性別について教えてください。

郵便番号	〒								
性別 (1つだけ○)	①女性	②男性	③その他						

問1-2 ご自宅の最寄りの駅とバス停を回答欄にご記入ください。また、最寄りの距離を教えてください。

最寄りの駅・バス停	自宅からの距離 (それぞれ1つに○)		
	①500m 未満	②500～1,000m 未満	③1,000m 以上
バス停	①100m 未満	②100～300m 未満	③300～500m 未満 ④500m 以上

問1-3 部活動や課外活動について、教えてください。 ※下記から該当する番号に○ (それぞれ1つ)

休日の通学 (部活動等)	①土曜のみ	②日曜のみ	③土日とも	④なし
塾	①ほぼ毎日	②週に2～3回	③週に1回	④月に1～2回 ⑤行っていない
アルバイト	①ほぼ毎日	②週に2～3回	③週に1回	④月に1～2回 ⑤行っていない

問1-4 学校以外でよく行く市内施設 (月1～2回程度以上) を、教えてください。

※下記の該当する番号に○ (いくつでも)

①ソフィアセンター	②アルフォーレ	③フオンジエ	④ドン・キホーテ柏崎店
⑤ウオロク柏崎店	⑥市内その他 ()	⑦該当なし	

問1-5 所有している電子端末を、教えてください。

※下記の該当する番号に○ (いくつでも)

①スマートフォン	②タブレット	③両方持っていない
----------	--------	-----------

問2 あなたの登下校について、お聞きます。

問2-1 最も頻度が高い登下校の時間帯について、教えてください。

※それぞれ回答欄に下記の該当する番号を記入

行き	家を出る時刻 →	学校を出る時刻 →
帰	家に着く時刻 →	家に着く時刻 →

①5時台以前	②6時台	③7時台	④8時台	⑤9時台	⑥10時台
⑦11時台	⑧12時台	⑨13時台	⑩14時台	⑪15時台	⑫16時台
⑬17時台	⑭18時台	⑮19時台	⑯20時台以降		

問2-2 (1) 通常時 と (2) 降雨や降雪の場合 の登下校時の柏崎市における交通手段について、それぞれ教えてください。複数の交通手段を利用する場合は全て記入ください。

※下記の該当する番号をいくつでも記入

	登校時の交通手段	下校時の交通手段
(1) 通常時	例③、⑦	例④
(2) 降雨・降雪時	例③、①	例④

【選択枝：交通手段】

①路線バス	②循環バス (かざぐるま・ひまわり)	③鉄道	④家族などによる送迎
⑤バイク	⑥徒歩・自転車	⑦その他 ()	

問2-3 【問2-2で「路線バス」、「循環バス (かざぐるま・ひまわり)」、「鉄道」のうち、いずれか一つでも選択した方にお聞きます。】

定期券は購入していますか。

※下記から該当する番号に○ (それぞれ1つ)

鉄道	バス
①1か月定期券を購入	①1か月定期券 (往復・片道) を購入
②3か月定期券を購入	②3か月定期券 (往復・片道) を購入
③6か月定期券を購入	③6か月定期券 (往復・片道) を購入
④定期券は購入していない	④定期券は購入していない

問3「路線バス、循環バス (かざぐるま・ひまわり) についてお聞きます。

問3-1 どの程度、利用していますか。 (通学以外も含みます) ※下記の該当する番号に○ (1つだけ)

①ほぼ毎日	②週に2～3回	③週に1回	④月に1～2回	⑤年に数回程度
⑥1年以上利用していない	【→⑤を選んでください】			

問3-2 路線バス、循環バス (かざぐるま・ひまわり) を利用する理由は何ですか。

※下記の該当する番号に○ (いくつでも)

①バス停が近い	②ほぼ時刻表通りに来る	③ダイヤがわかりやすい
④乗りたい時刻に運行している	⑤目的地へ自分で行ける	⑥運賃が安い
⑦乗り降りがしやすい	⑧車や自転車を使えない・使にくい	⑨送迎を頼まなくてもすむ
⑩雨や暑い日などの悪天候でも出られる	⑪ドライバーが親切	
⑫その他 ()		

問3-3 路線バス、循環バス (かざぐるま・ひまわり) の不便な点、または利用しない理由は何ですか。

※下記の該当する番号に○ (いくつでも)

①バス停が遠い	②時刻表通りに来ない	③ダイヤがわかりにくい
④運行本数が少ない	⑤始発バスの時間が遅い	⑥最終バスの時間が早い
⑦乗降環境が悪い (ベンチや上屋など)	⑧運賃が高い	⑨目的地まで時間がかかる
⑩よく行く目的地の近くに停留所がない	⑪運行ルートや時刻表・乗り場が複雑でわかりにくい	
⑫SuicaなどのICカードが利用できない	⑬車両の乗り降りがしにくい	⑭段差が大きい
⑮鉄道との乗り継ぎがしにくい	⑯他のバスとの乗り継ぎがしにくい	
⑰徒歩・自転車でも出られる	⑱家族や友人に送迎を頼める	
⑲ドライバーが不親切	⑳その他 ()	

問4 【問2-2で「鉄道」を1つでも選択した方】にお聞きします。

問4-1 鉄道の満足度について、教えてください。 ※下記から該当する番号に○(いずれ1つ)	駅施設 (待車場の広さなど)	①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満
	待合環境	①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満
	バリアフリー設備 (エスカレーター・エレベーターなど)	①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満
	駅内駅までの移動手段	①満足 ②やや満足 ③どちらでもない ④やや不満 ⑤不満

問4-2 駅 (学校最寄り) から、学校までどんな交通手段で行けますか。

	※下記の該当する番号に○(いくつでも)				
①路線バス	②循環バス (かざぐるま・ひまわり)	③バイク			
④自転車	⑤徒歩のみ	⑥その他 ()			

問5 【問2-2で「車による送迎」を1つでも選択した方】にお聞きします。

車による送迎をしてもらう主な理由と送迎先を以下の選択肢からそれぞれ選び各欄にご記入ください。
※送迎理由：該当する番号をいくつでも記入、送迎先：該当する記号を1つ記入

【記入欄】		登校時	下校時
送迎理由	例①、②		例⑦
送迎先・迎え先	例①イ		例①エ

【選択肢：送迎理由】

- ①車通勤の家族の通勤方向と同じ ②自宅から最寄りバス停 (または駅) まで遠い
③バスや鉄道を乗り継ぐことが難しい ④公共交通の待合環境 (上屋、ベンチ等) が悪い
⑤路線バス等の路線が長い ⑥始発のバス・電車の時刻が遅い
⑦帰りの時間帯のバスがない ⑧バスや鉄道の運賃が高い
⑨天気が悪いと自転車などが使えない ⑩その他 ()

【選択肢：送迎先・迎え先】

ア. 柏崎駅	イ. 最寄り駅	ウ. 最寄りバス停	エ. 学校	オ. その他 ()
--------	---------	-----------	-------	------------

問6 市外への外出についてお聞きします。

【柏崎市にお住まいの方にお聞きします。】柏崎市外へ出かけることがありますか。また、最も多い市外への外出先とその目的は何ですか。
※下記の該当する番号に○(いずれ1つ)

利用頻度	①週に1回以上 ②月に1～2回 ③2、3か月に1回程度 ④年に1回程度以下・全く出かけるしない
行先	①新潟市 ②長岡市 ③上越市 ④その他 ()
目的	①買い物・レジャー ②部活動 ③学習塾・習い事 ④その他 ()

問6-2 市外へ出かける場合の交通手段は何ですか。 ※下記の該当する番号に○(いくつでも)

①鉄道	②県内高速バス	③路線バス	④家族などの送迎	⑤バイク
⑥その他 ()				

問6-3 【問6-2で「県内高速バス」を選択した方にお聞きします。】

最も利用機会が多い柏崎市内の高速バス停と、そのバス停までの移動手段は何ですか。
※下記から該当する番号にそれぞれ○

高速バス停 (いくつでも)	①柏崎駅前 ②南町 ③柏崎営業所入口 ④日吉町 ⑤柏崎地域振興局入口 ⑥上方 ⑦柏崎インター (柏崎) ⑧豊地 ⑨西山
交通手段 (いくつでも)	①鉄道 ②路線バス ③循環バス (かざぐるま・ひまわり) ④家族などの送迎 ⑤バイク ⑥徒歩・自転車 ⑦その他 ()

問7 路線バスや鉄道等の公共交通についてお聞きします。

あなたの公共交通などに対する考え方に近いものをお選びください。 ※下記の該当する番号に○(いくつでも)

- ①友達と話したいので、なるべく、路線バスや鉄道等を利用している。
②1人で移動できるので、路線バスや鉄道等を利用している。
③料が運賃 (定期代) を出してくれるので、路線バスや鉄道等を利用している。
④親や家族が送ってくれるので、路線バスや鉄道等を利用していない。
⑤1人の時間を持ちたいので、なるべくなら、路線バスや鉄道などに乗りたくない。
⑥思ひあう空間が狭いので、なるべくなら、路線バスや鉄道などに乗りたくない。
⑦家族による送迎は、家族と会話をする大切な機会である。
⑧卒業後、進学や就職をしても、公共交通を使うつもりである。
⑨卒業後、進学や就職をした後、公共交通は使わないつもりである。
⑩公共交通は必要だと思うので、多大な経費がかかっても維持していくべきだと思う。
⑪公共交通は必要だと思うが、多大な経費をかけて維持することは、慎重に考えるべきだと思う。

問8 その他、市の公共交通に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

■障がい者アンケート調査票（1～2 ページ）

調査票C-4

アンケート調査票

問1 あなたの通学・通所状況について、お聞きします。

問1-1 (1) 通常の場合と (2) 降雨・降雪の場合の通学・通所時に、どの交通手段を利用しますか。それぞれ教えてください。

【記入欄】 ※下記の該当する番号をいくつでも記入

	通学・通所時の交通手段	帰宅時の交通手段
(1) 通常時	例) ④	例) ①、⑥
(2) 降雨・降雪時	例) ④	例) ④

【選択肢：交通手段】

①路線バス ②循環バス（かざぐるま・ひまわり） ③鉄道 ④タクシー
 ⑤家族などによる送迎 ⑥車・バイク ⑦徒歩・自転車 ⑧その他（ ）

問1-2 【問1-1で「家族などによる送迎」を1つでも選択した方にお聞きします。】
 車による送迎をしてもらう主な理由と送迎先を以下の選択肢からそれぞれ選び、各欄にご記入ください。

【記入欄】 ※送迎理由：該当する番号をいくつでも記入、送迎先：該当する記号を1つ記入

送迎理由	通学・通所時	帰宅時
送り先・迎え先	例) ①、⑥	例) ③、⑤、⑩
	例) 工	例) 工

【選択肢：送迎理由】

①車通勤の家族の通勤方向と同じ ②自宅から最寄りバス停（または駅）まで遠い
 ③バスや鉄道を乗り継ぐことが難しい ④バスにノンステップ車両が少ない
 ⑤バスが時間通りに来ない ⑥乗降に時間がかかるため人目が気になる
 ⑦始発のバス・電車の時刻が遅い ⑧降りの時間帯のバスがない
 ⑨バスや鉄道の運賃が高い ⑩座れないとつらい
 ⑪公共交通を利用することが不安・困難 ⑫天気が悪いと自転車などを利用できない
 ⑬その他（ ）

【選択肢：送り先・迎え先】

ア. 柏崎駅 イ. 最寄り駅 ウ. 最寄りバス停 エ. 学校・作業所 オ. その他（ ）

問1-3 最も頻度が高い通学・通所の時間帯について、教えてください。

※それぞれ解答欄に下記の該当する番号を記入

行	自宅などを出る時刻	学校・作業所を出る時刻	学校・作業所に着く時刻	自宅などに着く時刻
1	例) 5時台	例) 8時台	例) 15時台	例) 18時台
2	例) 6時台	例) 9時台	例) 16時台	例) 19時台
3	例) 7時台	例) 10時台	例) 17時台	例) 20時台以降

問2 路線バス、循環バス（かざぐるま・ひまわり）について、お聞きします。

問2-1 どの程度、利用していますか。 ※下記の該当する番号に○（1つだけ）

①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回 ④月に1～2回 ⑤年に数回程度
 ⑥1年以上利用していない [→⑥を選んで2-3へお進みください]

問2-2 路線バス、循環バス（かざぐるま・ひまわり）を利用する理由は何ですか。
 ※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①バス停が近い ②ほぼ時刻表通りに来る
 ③ダイヤがわかりやすい ④乗りたい時刻に運行している
 ⑤目的地へ自分で行ける ⑥運賃が安い
 ⑦乗り降りがしやすい ⑧車や自転車を使えない・使いにくい
 ⑨送迎を頼まなくてもすむ ⑩雨や暑い日でも出かけられる
 ⑪ドライバーが親切 ⑫その他（ ）

問2-3 路線バス、循環バス（かざぐるま・ひまわり）の不便な点、または利用しない理由は何ですか。
 ※下記の該当する番号に○（いくつでも）

①バス停が遠い ②時刻表通りに来ない
 ③ダイヤがわかりにくい ④運行本数が少ない
 ⑤始発バスの時間が遅い ⑥最終バスの時間が早い
 ⑦よく行く目的地の近くに停留所がない ⑧目的地まで時間がかかる
 ⑨運行ルートや時刻表乗り場が複雑でわかりにくい ⑩運賃が高い
 ⑪車両の乗り降りがしにくい ⑫SuicaなどのICカードが利用できない
 ⑬鉄道との乗り継ぎがしにくい ⑭他のバスとの乗り継ぎがしにくい
 ⑮待合環境が悪い（ベンチや上屋など） ⑯徒歩・自転車が出かけられる
 ⑰車を使える ⑱家族や友人に送迎を頼める
 ⑲ドライバーが不親切 ⑳その他（ ）

問3 鉄道利用について、お聞きします。

問3-1 鉄道を利用する時の乗車駅（自宅からの最寄り）を教えてください。

※下記から該当する番号に○（1つだけ）

①柏崎 ②茨目 ③安田 ④北条 ⑤越後広田 ⑥長島 ⑦藤波
 ⑧青海川 ⑨笠島 ⑩米山 ⑪東柏崎 ⑫西中通 ⑬荒浜 ⑭刈羽
 ⑮西山 ⑯礼拝 ⑰石地 ⑱利用しない

問3-2 鉄道の満足度について教えてください。 ※下記から該当する番号に○（それぞれ1つ）

駅施設（車場の混雑など）	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
待合環境	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
バリアフリー設備 （加齢・車いす・加齢など）	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満
自宅に近い駅までの 移動手段	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満

— ご協力ありがとうございました —

(3) 結果の概要

表 アンケート調査結果の概要 (1)

行動パターン	高齢者	高校生	障がい者	結果から分かる点
バターン	【目的地】 ・買い物：ピアレマート、ウオロク柏崎店、原信岩上店 など ・通院：柏崎総合医療センター など ・その他：柏崎市役所、ソフィアセンター など	【休日の登校】 ・土曜日に登校する生徒・・・：54% ・日曜日に登校する生徒・・・：32% 【塾・アルバイト】 ・塾に通っている生徒・・・：16% ・アルバイトをしている生徒・・・：96% 【学校以外でよく行く施設】 ・ドンキホーテ柏崎店・・・：26% ・ウオロク柏崎店・・・：16% ・ソフィアセンター・・・：14% 【通学時刻】 ・7時台：56%（7～8時台：87%） ※6時台以前：13% 【帰宅時刻（学校を出る時刻）】 ・18時台：32%（16～18時台：77%） ※19時台以降：15% 【通学手段（通常時登校）】 ・徒歩・自転車・・・：64% ・家族などによる送迎・・・：34% ・鉄道・・・：28% ・路線バス（循環バス含む）・・・：8% 【定期券の購入】 ・鉄道・・・：65% ・バス・・・：8% 【市外への外出】 ・（頻度）月に1回以上・・・：63% ・（目的地）長岡市・・・：83% ・（目的）買い物・レジャー・・・：82% ・（手段）家族などの送迎・・・：69% 鉄道の利用・・・：54%	【通学・通所時の交通手段（通常時）】 ・家族などによる送迎・・・：54% ・徒歩・自転車・・・：30% ・路線バス・・・：25% 【通学・通所時刻（家を出る時刻）】 ・8時台：62%（7～8時台：81%） 【帰宅時刻】 ・15時台：64%（15～16時台：91%）	【公共交通の利用】 ○高齢者は公共交通の利用が少ない。 ○高校生は、鉄道は利用しているが、路線バスの利用は少ない。 （市外からの通学者や鉄道沿線の通学者は鉄道を利用している） 【主な行き先】 ○買い物：ピアレマート、ウオロク柏崎店、原信岩上店、ドンキホーテ柏崎店 など 通院：柏崎総合医療センター など その他：柏崎市役所、ソフィアセンター など 【休日の公共交通の運行】 ○休日にも登校する高校生がいるため、公共交通の運行の必要性は高いと考えられる。 【運行時間帯】 ○塾に通ったり、アルバイトをしている高校生は多くないため、部活動以降の時間帯の公共交通の運行の必要性は低いと考えられる。 ○高齢者、高校生、障がい者の主な外出時間帯は7～10時台、高齢者の帰宅時間帯は11～12時台、高校生、障がい者の帰宅時間帯は15～18時台である。 【市外への外出】 ○高校生の市外への外出は、主に月に1回程度、長岡市に買い物・レジャーに行く状況が多い。利用交通手段としては、家族による送迎（家族と一緒に出掛けること）が多いが、友達出かける場合は、鉄道を利用する人もいる。一方、路線バスの利用は少ない。
	【交通手段】 ・買い物：自家用車 67% 送迎 15% 路線バス 5% ・通院：自家用車 64% 送迎 18% 路線バス 6% タクシー 2% ・その他：自家用車 70% 送迎 16% 路線バス 4% タクシー 1%			

表 アンケート調査結果の概要 (2)

	高齢者	高校生	障がい者	結果から分かる点
自動車	【運転】 ・運転免許保有・・・：72% ・自家用車の保有・・・：73% ・自動車の運転ができる家族がいる：96% ・同居の家族がいる・・・：75%		【運転】 ・運転免許保有・・・：15% ・自家用車の保有・・・：14% ・自動車の運転ができる家族がいる：86%	【自動車の運転】 ○高齢者の免許保有率は72%で、同居の家族などを含め、自動車を運転できる方がいる環境が96%である。そのため、自分が運転できなくても家族による送迎で、公共交通を使わなくても外出できる環境がほとんどである。
電子端末の保持	【電子端末の保有】 ・スマートフォン・・・：46%	【電子端末の保有】 ・スマートフォン・・・：99% ・タブレット・・・：22%	【電子端末の保有】 ・スマートフォン・・・：42%	【スマートフォン】 ○スマートフォンは高校生でほぼ全員が持っており、高齢者、障がい者も約4割の方が持っている状況である。今後、利便性向上のためにスマートフォンを活用するための環境が整っている。
路線バス	【利用頻度】 ・週1回以上利用している・・・：5% ・1年以上利用していない・・・：76% 【利用する理由】 ・バス停が近い・・・：46% ・目的地へ自分で行ける・・・：36% ・送迎を頼まなくても済む・・・：30% 【利用しない理由】 ・車を使う・・・：40% ・家族や友人に送迎を頼める・・・：24% ・運行本数が少ない・・・：20% ・バス停が遠い・・・：13% 【高齢者割引制度】 ・認知度・・・：41% ・購入・・・：9% ・満足度：どちらでもない(66%) ○改善要望 ・使用期限をなくしてほしい：29% ・使用期限を延ばしてほしい：13% ・その他「わからないなど」：35%	【利用頻度】 ・週1回以上利用している・・・：13% ・1年以上利用していない・・・：55% 【利用する理由】 ・送迎を頼まなくても済む・・・：35% ・目的地へ自分で行ける・・・：27% ・バス停が近い・・・：26% ・車や自転車を使えない・使にくい：26% ・雨や暑い日などの悪天候でも出かける：22% 【利用しない理由】 ・運行本数が少ない・・・：40% ・徒歩・自転車で行ける：29% ・家族や友人に送迎を頼める・・・：29% ・500m以上離れている・・・：70%	【利用頻度】 ・週1回以上利用している・・・：27% ・1年以上利用していない・・・：61% 【利用する理由】 ・目的地へ自分で行ける・・・：55% ・バス停が近い・・・：48% 【利用しない理由】 ・家族や友人に送迎を頼める・・・：45% ・運行本数が少ない・・・：26% ・徒歩・自転車で行ける・・・：20% ※よく行く目的地に停留所がない：14% バス停が遠い・・・：13%	【利用できる(しやすい)環境整備】 ○路線バスの利用頻度は低く、1年以上利用していない方が、高齢者、高校生、障がい者とも50%以上である。 ○路線バスを利用しない理由としては、「運行本数が少ないこと」や、「送迎や自転車などの他の移動手段があること」が挙げられている。 【高齢者割引制度の広報強化】 ○路線バス高齢者割引制度の認知度は、<u>高齢者の4割程度</u>であるため、さらに周知をする必要がある。
タクシー	【利用する理由】 ・目的地へ直接行ける・・・：58% ・自宅や目的地の前で乗り降りができる：48% ・自分の好きな時間に移動できる・・・：37% 【利用しない理由・利用しない理由】		【利用する理由】 ・目的地へ直接行ける・・・：62% ・自宅や目的地の前で乗り降りができる：38% ・自分の好きな時間に移動できる・・・：36% 【利用しない理由・利用しない理由】	○タクシーは、「目的地へ直接行ける」ことや、「自宅や目的地の前で乗り降りができる」点にメリットを感じている一方で、乗車運賃に負担感を感じている方は一定数いる。

表 アンケート調査結果の概要 (3)

	高齢者	高校生	障がい者	結果から分かる点
鉄道	※普段、鉄道をあまり利用していない人の回答 【満足度】 - 駅施設：不満・やや不満が多い（32%） - 待合環境：満足・やや満足が多い（40%） - バリアフリー設備：満足・やや満足が多い（29%） - 駅までの移動手段：満足・やや満足が多い（28%） 【自宅から最寄りの駅までの交通手段】 - 徒歩・自転車・・・：31% - 自家用車（自分で運転）・バイク：28% - 家族や友人等の送迎・・・：22% - 路線バス・・・・・・・・：9% - タクシー・・・・・・・・：8%	【満足度】 - 駅施設：満足・やや満足が多い（50%） - 待合環境：満足・やや満足が多い（40%） - バリアフリー設備：満足・やや満足が多い（51%） - 駅までの移動手段：満足・やや満足が多い（50%） 【駅から学校までの交通手段】 - 徒歩・・・・・・・・・・・：90% - 路線バス・・・・・・・・・・・：8%	※普段、鉄道をあまり利用していない人の回答 【満足度】 - 駅施設：不満・やや不満が多い（23%） - 待合環境：満足・やや満足が多い（22%） - バリアフリー設備：満足・やや満足が多い（21%） - 駅までの移動手段：不満・やや不満が多い（24%） 【自宅から最寄りの駅までの交通手段】 - 徒歩・自転車・・・：58% - 家族や友人等の送迎・・・：26% - 路線バス・・・・・・・・：4% - タクシー・・・・・・・・：4%	※高齢者や障がい者はほとんど利用がないため、意見としては十分ではない。
高速バス	※普段、鉄道をあまり利用していない人の回答 【満足度】 - 運行便数：不満・やや不満が多い（34%） - 運賃：満足・やや満足が多い（27%） - バス停までの距離：満足・やや満足が多い（24%） - 待合環境：同程度 【自宅から最寄りのバス停までの交通手段】 - 自家用車（自分で運転）・バイク：32% - 家族や友人等の送迎・・・：27% - 徒歩・自転車・・・・・・・・：22% - 路線バス・・・・・・・・・・・：7% - タクシー・・・・・・・・・・・：4% - 鉄道・・・・・・・・・・・・：1%			※高齢者や障がい者はほとんど利用がないため、意見としては十分ではない。

5 用語の解説

用語	掲載ページ	解説
AI	P40	人工知能のこと。人が実現するさまざまな知覚や知性を人工的に再現するもの。
AI オンデマンドシステム	P44,46,50	AI を活用し、リアルタイムに発生する乗降リクエストから、最適な乗り合わせ（利用者の組み合わせ）を判断し、効率的な配車により、利用者にとって効率的な移動を実現するシステム。
ICT （情報通信技術）	P40	情報処理や通信技術の総称。交通分野においては、スマートフォン等を活用した経路検索システムやバスロケーションシステム、デマンド交通予約システムなど、さまざまな技術を活用して利便性を図るものをいう。
運行欠損額	P25,26,27,28	運賃収入が運行経費に満たない額。
福祉タクシー	P29	車イスなどのまま乗車でき、高齢者、障がい者、肢体不自由な方などの通院や買い物に利用できるタクシー。介護の資格を持ったドライバーが介助の手伝いをする。
キャッシュレス決済	P50,52	現金を使用せずにクレジットカードや Suica 等 IC カード、スマートフォン等でお金を支払うこと。
高齢者割引制度	P23,37	柏崎市で実施している満 65 歳以上の方を対象とした割引制度。高齢者専用回数券を一般回数券の半額で購入でき、市街地循環バスや路線バスで利用できる。
国庫補助路線 （国庫補助を活用する対象路線）	P45	生活交通路線として必要なバス路線のうち、国が交通事業者に対して助成を行っている路線のこと。補助金には大きく 2 種類あり、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金と地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金がある。
コミュニティ振興協議会	P14,28	複数の町内会や小・中学校単位のように広い地域で起こっている課題の解決に向けた活動に取り組んでいる住民組織。
自家用有償旅客運送	P14,27,42,46	バス、タクシー等が運行されていない過疎地域等において、住民の日常生活における移動手段を確保するため、国土交通大臣の登録を受けた市町村、NPO 等が自家用車を用いて有償で運送する仕組み。市町村内の交通空白地等、市町村自らがその区域内で住民の運送を行うものは、特に市町村運営有償運送という。また、NPO 法人等が交通空白地において、当該地域の住民やその親族等の会員等に対して運送を行うものを特に公共交通空白地有償運送という。NPO 法人等が、単独でタクシーその他の公共交通機関を利用することが困難な身体障害者等の会員に対して、原則としてドア・ツー・ドアの個別輸送を行うものを特に福祉有償運送という。

収支率	P23,39,41,42,51	運行経費に対する運賃等の収入の割合。
地域間幹線系統確保維持費国庫補助金	P45	生活交通路線として必要なバス路線のうち、長岡線など市町村間を結ぶなど広域的・幹線的なバス路線の運行維持等を図るため、国が乗合バス事業者に対して行う助成制度。
地域公共交通活性化協議会	P44,47,48,49,50	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条第1項の規定に基づき、協議会として設置するもの。地域公共交通の活性化及び再生を図るため、地域公共交通計画の策定や路線統廃合の検討等、地域における取組を総合的かつ効率的に推進するほか、住民の生活に必要な移動手段の確保及び利便性向上を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。
地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金	P45	市街地循環バスひまわりなど、補助対象地域間バス系統を補完する路線や過疎地域など交通不便地域の移動確保を目的とする路線の運行維持等を図るため、国が運行事業者に対して行う助成制度。
ドアツードア	P25,27	依頼主の自宅前から目的地までなど、直接アクセスできる運送サービスのこと。
乗合タクシー	P14,28,46	地域の生活交通を維持するため、タクシー事業者等が自治体と連携し、同じ方面へ向かう不特定多数の乗客が相乗りで利用できるタクシー。
ノンステップバス	P49	車両床面を超低床構造として、乗降時の段差がほとんどない、高齢者や子どもでも利用し易いバス。
ボランティア輸送	P46	輸送の運賃を受け取らない、無償輸送のこと。
ユニバーサルデザインタクシー (UD タクシー)	P49	高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れなど、誰もが利用しやすいように形状が工夫されたタクシー車両。